

会長杯 第3回青森オープン小学生卓球大会

競技上の注意

審判長 木村 茂

本大会は、現行の日本卓球ルールを適用して実施する。

1 試合方法

- ・種目は個人戦（小学校学年別の男女）とし、11本5ゲームマッチで行う。
第1日目は男子、第2日目は女子の競技を行う。
- ・予選リーグの後、1位、2位の選手による決勝トーナメントで順位を決定する。
- ・タイムアウト制は適用しない。
- ・試合前の練習は、1分間とする。

2 試合球

- ・日本卓球協会使用指定のプラスチック球（バタフライ(R40+)）のみを使用する。

3 ラケット・ラバーについて

- ・外国製ラケットでJTTAの公認していないものを使用する場合は、試合前に審判長の許可を得ること。
- ・ラバーはJTTAまたはITTFが公認したもので、公認ロゴがなければならない。
- ・カラーのラバーを使用する場合は、片面は黒色（ペンホルダーの場合も含む）とする。
- ・接着剤を含むラバーの厚みが4.0mmを超えるものや、表面の平坦性が失われているものは使用できない。

4 服装について

- ・ゼッケンは日本卓球協会指定「2024年度用」のものを使用すること。
- ・競技用服装（シャツ、ショーツまたはスカート）はJTTAのワッペンがついたものを着用すること。

5 休憩について

- ・ゲームの間の休憩は1分以内とする。
- ・タオルの使用は6本ごととする。ただし、手のひらの汗を拭く場合とメガネに付いた汗等を拭く時はこの限りでない。

6 アドバイス等について

- ・ベンチアドバイザーは、1名とする。また、競技中のアドバイスは禁止されている。

7 審判について

- ・予選リーグの審判は同じブロックの試合のない選手及びコート主任が行う。また、決勝トーナメントの第1試合の審判は指定する選手及びコート主任が行う。それ以降は敗者審判とする。

8 一般的注意事項

- ・試合は、プログラムのタイムテーブルに従って進行しますので、放送による呼び出しはありません。選手はタイムテーブルを確認し、前の試合が終わり次第、コートに入ってください。
- ・棄権等があるコートでは、タイムテーブルより前倒しで行う場合もある。また、試合進行の都合で予定コート、あるいは試合時間を変更する場合は、放送でお知らせします。
- ・競技中に起こったケガ・事故については応急処置を致しますが、一切の責任は負いません。
- ・選手は自分自身の状況にあったウォームアップをして試合に臨んでください。